



2022年11月24日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学アート・センター主催
アート・アーカイヴ資料展 XXIV 西脇順三郎没後 40 年記念展
「フローラの旅」が開催 (2023/1/16~3/17)

慶應義塾大学アート・センターでは 2012 年に新倉俊一氏（元明治学院大学名誉教授、英文学研究者）から西脇資料のご寄贈を受け、アート・アーカイヴの西脇順三郎コレクションを運営してきました。このたび没後 40 年を記念し、「歩く」という身体移動を伴いつつ路傍の野草に心を寄せた詩人の活動を「フローラの旅」と名づけ、詩の世界が創造されるプロセスに光をあてます。

1. 基本情報

会 期：2023年1月16日（月）～3月17日（金）※土日祝休館

開館時間：11：00～18：00

会 場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1 階アート・スペース）

入 場：無料

展覧会ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artarchive24/>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて会期や入場方法など変更になることがございます。

最新情報は上記、展覧会ウェブサイトをご確認ください

主催：慶應義塾大学アート・センター

助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団

2. 展覧会概要

2022 年、没後 40 年を迎えた西脇順三郎は戦前・戦後を通じて日本の現代詩に大きな影響を与えました。「新しい思考の創造者」として世に出した詩篇、散文、詩論の数々は 21 世紀の現在でも色あせることはありません。

本展では「散歩」と「フローラ」という 2 つのキーワードを設定して、西脇の詩世界を探求します。教鞭を執っていた港区三田界限、住居を構えた白金台や渋谷、代々木などをはじめとする都心の各所に加え、人々との交流の中で出向いた世田谷や多摩川べりを詩人は歩きました。そしてふと目にした野草たちに心を寄せ、ふだんは地味で目立つことのない草花たちが鮮やかに、不思議な音となって詩に現れることとなります。歩くという身体動作すなわち空間移動をしながら、野草を手にとり、さらにそれらを貼り付けて押し花にするプロセスは、詩人が身体の五感を用いてイマージュの世界を創出していた証といえるでしょう。時空を超え、永劫に像をむすぶ「幻影の人」を追い求めた西脇順三郎の芸術の根底にある「散歩」と「フローラ」をあらためて意識して、西脇作品を鑑賞していただければ幸いです。

【西脇順三郎（1894-1982）】

1894（明治 27）年、新潟県小千谷市生まれ。慶應義塾大学理財科卒。1922（大正 11）年、イギリスへ留学。帰国後、慶應義塾大学にて教壇に立ち、執筆活動を開始する。詩人・評論家として日本のモダニズム運動の指導者と目される。詩集『Ambarvalia』（1933）、『近代の寓話』（1953）ほか。1957（昭和 32）年、詩集『第三の神話』で読売文学賞を受賞。エズラ・パウンドに見出されノーベル文学賞候補（1958 -68 年まで 10 回）となる。1971（昭和 46）年、文化功労者。1982（昭和 57）年没。享年 88 歳。

3. 出品作品（予定）



01



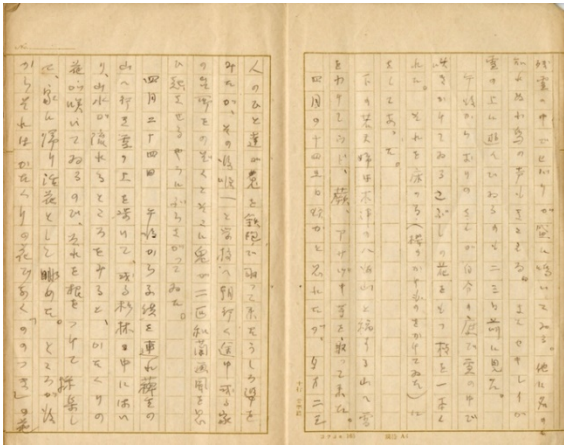
02



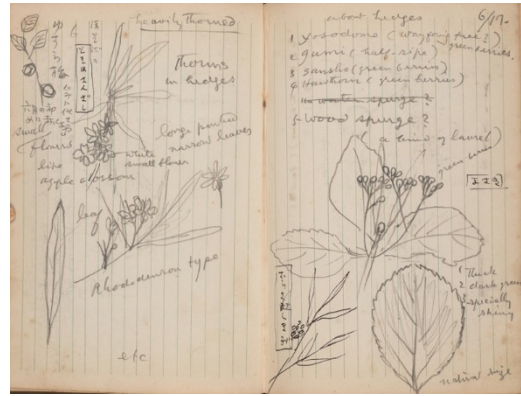
03



04



05



06



07



08

提供写真情報：所蔵記載ないものは、慶應義塾大学アート・センター蔵。

01 撮影：飯田善國《ある日の西脇順三郎 1976・9月19日》1976年、8mm フィルムからのデジタル上映。

02, 03, 04 撮影：川辺信一〔多摩川散策をする西脇順三郎〕1965年、ゼラチン・シルバー・プリント。

05 西脇順三郎「自然の生命」自筆原稿、1944年。

06 西脇順三郎〔自筆ノート〕年代不詳。

07 西脇順三郎「押し花帳」1960-70年代頃、県立神奈川近代文学館蔵。

08 牧野富太郎『原色野外植物図譜』全三巻、誠文堂新光社、1935年、津田塾大学図書館蔵、西脇順三郎旧蔵資料。

※実際の展示作品とは異なる場合がございます。ご了承ください。

4. 関連イベント

会期中、インクルーシブ鑑賞ワークショップを開催する予定です。

① 2023年2月25日(土) ② 2023年3月11日(土)

詳細はホームページ、SNS等をご確認ください。

5. 会場案内

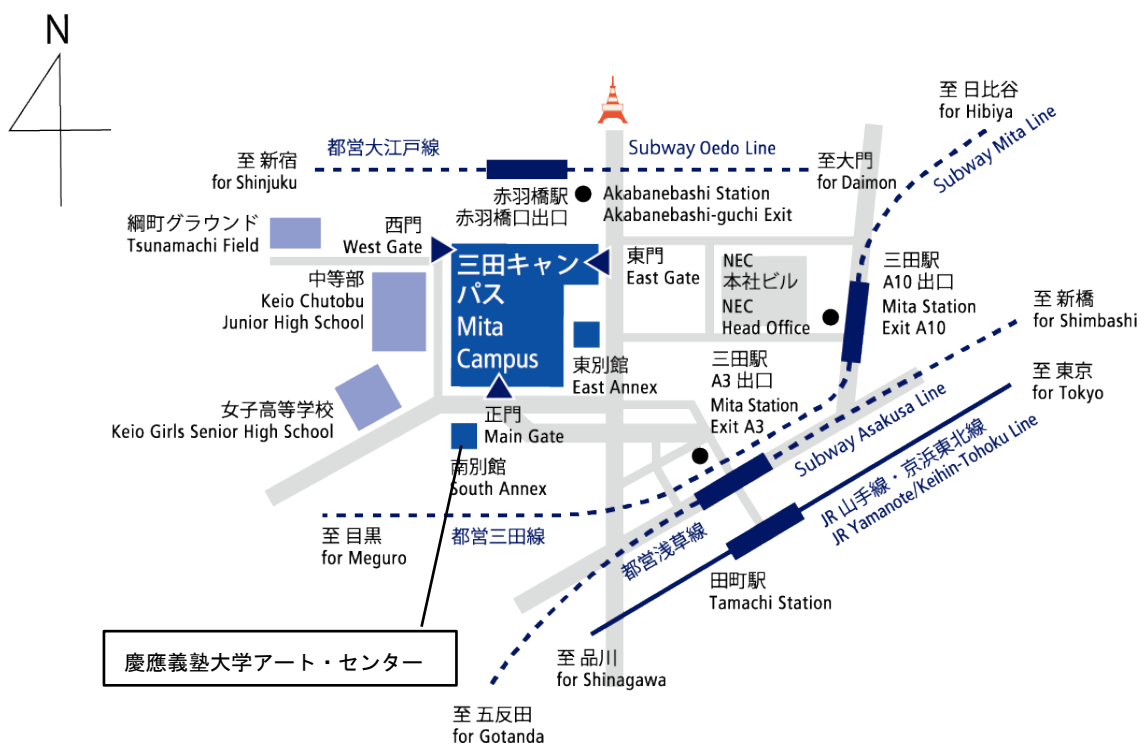
会場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館1階アート・スペース）

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田町駅（JR山手線/JR京浜東北線）徒歩8分

三田駅（都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線）徒歩7分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩8分



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部、文化部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>